

2024年度 土壌医検定試験の実施結果と資格登録等の概要

2024年度（令和6年度）土壌医検定試験は、2025年2月9日（日）に全国43会場で実施した。2024年度の試験実施結果及び資格登録者数、土壌医の会の組織化等の概要は以下の通りである。

1. 試験申込者数の動向

- ◆ 2024年度の試験申込者数は3,539名で、前年度と比較して全体で308名増加した。級別にみると1級は1名、2級は3名、3級は304名増加した。（表1）

表1 試験申込者数の推移 (名)

	2012年度	2013年度	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	前年度増減
1級		207	152	140	119	133	137	129	88	110	91	98	99	1
2級	1,135	1,104	1,072	1,133	1,121	1,128	1,049	1,138	1,151	1,220	1,291	1,376	1,379	3
3級	822	1,390	2,353	1,744	1,612	1,750	1,619	1,498	1,618	1,709	1,754	1,757	2,061	304
合計	1,957	2,701	3,577	3,017	2,852	3,011	2,805	2,765	2,857	3,039	3,136	3,231	3,539	308

2. 試験申込者の職業別内訳

- ◆ 職業別の試験申込者で最も多いのは「会社員」で、次いで「JAグループ」、「農業者、農業法人」、「公務員、公益団体職員」の順となっている。（次頁の表2）
- ◆ 前年度と比較して大きく増加したのは、「JAグループ」（299名増）、「農業者、農業法人」（96名増）で、両者とも最近の動向からみて、増加基調にあるものとみられる。
- ◆ 一方、前年度と比較して減少したのは、「大学生、大学院生」（50名減）、「農業大学校生」（48名減）、「農業高校生」（21名減）で、学生の減少がみられる結果となった。

表2 職業等別試験申込者数の推移

(名)

職業等	2012年度	2013年度	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	前年度増減
会社員	945	1,992	2,790	2,066	1,713	1,679	1,347	1,226	1,206	1,292	1,296	1,356	1,348	▲ 8
JAグループ	150	167	163	209	237	220	308	271	322	334	368	369	668	299
農業者、農業法人	118	91	142	111	138	221	281	329	288	354	411	421	517	96
公務員、公益団体職員	181	134	150	151	194	191	180	214	176	189	207	235	223	▲ 12
自営業	56	46	0	0	0	24	17	18	35	49	51	69	66	▲ 3
農業高校生	77	49	130	263	261	286	282	231	326	342	258	194	173	▲ 21
農業大学生	17	23	27	34	92	108	185	197	221	196	209	209	161	▲ 48
大学生、大学院生	64	65	80	64	110	131	134	163	149	154	160	208	158	▲ 50
短期大学生、専門学校生	2	8	0	21	18	22	20	18	34	5	57	17	32	15
その他	347	126	95	98	89	129	51	98	100	124	119	153	193	40
合計	1,957	2,701	3,577	3,017	2,852	3,011	2,805	2,765	2,857	3,039	3,136	3,231	3,539	308

※「その他」には、NPO、パート、記載なしを含む

3. 試験申込者の試験会場別内訳

- ◆ 試験は、各ブロックに設置される25会場、および農業高校等の準会場18会場の計43会場で実施した。また、新規に栃木会場と広島会場が設置された。(表3)

表3 試験会場別試験申込者数 (名)

試験会場	2024年度				2023年度			
	1級	2級	3級	計	1級	2級	3級	計
札幌	16	103	67	186	17	82	64	163
仙台	9	73	77	159	7	68	83	158
東京	34	196	212	442	36	261	198	495
福井	4	34	57	95	1	40	87	128
名古屋	5	104	146	255	6	110	99	215
大阪	8	136	217	361	7	127	181	315
岡山	7	42	61	110	5	40	53	98
福岡	16	126	158	300	15	125	121	261
沖縄	0	20	17	37	4	28	9	41
帯広		25	25	50		26	23	49
網走		20	6	26		22	5	27
秋田		8	12	20		9	28	37
山形		13	14	27		9	8	17
栃木		23	31	54				
群馬		35	36	71		39	29	68
埼玉		42	55	97		54	68	122
千葉		34	47	81		21	31	52
長野		34	50	84		42	64	106
静岡		38	48	86		35	58	93
新潟		22	25	47		28	15	43
島根		22	19	41		34	34	68
広島		9	31	40				
愛媛		12	22	34		16	18	34
高知		13	31	44		7	56	63
大分		54	66	120		36	60	96
準会場 ※		141	531	672		117	365	482
合計	99	1,379	2,061	3,539	98	1,376	1,757	3,231

※2024年度準会場(18会場)の合計

4. 試験申込者の男女比率と年齢

- ◆ 試験申込者全体に占める女性の割合は 22.0%であり、前年度とほぼ同程度であった。
(表 4)

表 4 試験申込者の級別男女数と比率 (名)

	1級	2級	3級	計	比率	2023年度 申込者	比率
男性	81	1,151	1,528	2,760	78.0%	2,483	76.8%
女性	18	228	533	779	22.0%	748	23.2%
合計	99	1,379	2,061	3,539	100.0%	3,231	100.0%

- ◆ 試験申込者の平均年齢は 36.4 歳で、前年度に比べて若干上昇した。また、最高齢は 2 級の 85 歳で、最年少は 3 級の 12 歳 (小学生) であった。(表 5)

表 5 試験申込者の年齢 (歳)

	2024 年度				2023 年度			
	1級	2級	3級	全体平均	1級	2級	3級	全体平均
最高齢	69	85	81		68	83	80	
最年少	28	16	12		27	16	15	
平均年齢	43.6	38.1	34.9	36.4	44.0	36.9	33.0	35.0

※年齢は申込時点

5. 土壌医検定試験合格者数と合格率

- ◆ 1 級は合格者 27 名 (合格率 29.3%)、2 級は合格者 423 名 (合格率 35.9%)、3 級は合格者 1,029 名 (合格率 54.7%) であった。1 級及び 2 級の合格率は、前年度に比べ高かった。3 級の合格率は前年度とほぼ同程度であった。(表 6)

表 6 試験級別の合格者数と合格率 (名)

	2024 年度				2023 年度			
	申込者	受験者	合格者	合格率	申込者	受験者	合格者	合格率
1 級	99	92	27	29.3%	98	86	14	16.3%
2 級	1,379	1,177	423	35.9%	1,376	1,203	320	26.6%
3 級	2,061	1,881	1,029	54.7%	1,757	1,584	882	55.7%
計	3,539	3,150		—	3,231	2,875	1,216	—

6. 土壌医関係研修会の開催

- ◆ 協会では、主に受験者を対象とした研修会と、資格登録者等を対象としたレベルアップ研修会の二種類の研修会を行っている。
- ◆ 2024年度は、1級レベルの研修会を都内の1会場で、2級及び3級レベルの研修会を全国4会場（札幌、東京、大阪、福岡）で実施した。
- ◆ 希望者に2級及び3級レベル研修会動画のweb配信を行った。また、研修会資料については各レベル用の資料を希望者に販売した。
- ◆ レベルアップ研修会については都内で、土壌診断と改善対策の事例を題材とした研修を実施した。また、研修会のライブ配信も行った。

7. 土壌医等資格登録者数

- ◆ 土壌医等資格登録者数は、2025年3月現在で4,135名となっている。（表7）

表7 土壌医等資格登録者数（名）

資格名	2025年 3月現在	2024 年度末	2023 年度末
土壌医	260	258	255
土づくりマスター	1,197	1,142	1,130
土づくりアドバイザー	2,678	2,668	2,645
合計	4,135	4,068	4,030

8. 土壌医の会の組織化状況

- ◆ 土壌医資格登録制度では、資格登録者に継続研鑽が義務付けられており、その継続研鑽等を行うための重要な組織として「土壌医の会」が位置づけられている。
- ◆ これまでに、全国的活動を推進するための組織である「土壌医の会全国協議会」の他、地域をベースに活動する「地域土壌医の会」が24組織、土壌医等が所属する組織をベースに活動する「事業体土壌医の会」が17組織、合計41組織が設立されている。（表8）
- ◆ 2024年度には、「十勝土壌医の会」（地域土壌医の会）が新たに設立された。

表8 土壌医の会の組織化状況一覧 (2025年3月現在)

#	設立日	名称	代表	事務局所在地
	2017年3月7日	土壌医の会全国協議会	野口 勝憲	東京都
地域土壌医の会				
1	2014年11月17日	沖縄土壌医の会	宮丸 直子	沖縄県
2	2017年4月1日	首都圏土壌医の会	高山 晃	群馬県
3	2017年7月3日	新潟県土壌医の会	小柳 渉	新潟県
4	2017年9月7日	柏土壌医の会	高野 典子	千葉県
5	2017年9月22日	高知土壌医の会	山崎 浩司	高知県
6	2017年9月28日	信州土壌医の会	吉田 清志	長野県
7	2017年12月12日	北海道オホーツク土壌医の会	佐藤 富則	北海道
8	2018年6月20日	大分土壌医の会	小野 忠	大分県
9	2018年7月19日	札幌土壌医の会	根本 浩	北海道
10	2018年8月22日	茨城土壌医の会	野口 勝憲	茨城県
11	2018年10月15日	三重県土壌医の会	近藤 芳弘	三重県
12	2018年11月1日	愛媛土壌医の会	上野 秀人	愛媛県
13	2018年11月19日	近畿土壌医の会	間藤 徹	大阪府
14	2019年7月16日	九州土壌医の会	大畑 和生	長崎県
15	2019年7月25日	山陰土壌医の会	松本 真悟	島根県
16	2019年9月17日	福岡土壌医の会	一百野 昌世	福岡県
17	2019年12月23日	北部九州土壌医の会	染谷 孝	福岡県
18	2020年2月3日	宮崎土壌医の会	赤木 康	宮崎県
19	2020年8月5日	秋田土壌医の会	金田 吉弘	秋田県
20	2020年8月22日	両総土壌医の会	長谷川 智重	千葉県
21	2021年4月1日	青森土壌医の会	小泉 聖也	青森県
22	2022年1月17日	広島土壌医の会	森 昭暢	広島県
23	2024年2月15日	東京土壌医の会	豊田 剛己	東京都
24	2025年1月16日	十勝土壌医の会	内海 宏信	北海道
事業体土壌医の会				
1	2015年10月1日	ヤンマー土壌医の会	長光 良平	大阪府
2	2015年10月9日	富士見工業土壌医の会	山本 正信	静岡県
3	2015年10月14日	クボタ土壌医の会	井上 香奈	大阪府
4	2016年1月27日	ホーネンアグリ土壌医の会	小林 民雄	新潟県
5	2016年2月23日	日本肥糧土壌医の会	小川 孝行	群馬県
6	2016年3月23日	片倉コープアグリ土壌医の会	藤澤 英司	東京都
7	2016年5月26日	朝日肥糧土壌医の会	八重 安修	香川県
8	2016年8月16日	土の匠土壌医の会	越坂 義明	群馬県
9	2017年4月25日	サカタ土壌医の会	田村 恵理子	高知県
10	2017年6月1日	朝日アグリア(株)土壌医の会	鈴木 祐二	埼玉県
11	2017年10月4日	住商アグリビジネス土壌医の会	福島 大輔	東京都
12	2018年7月1日	生科研土壌医の会	中嶋 浩平	熊本県
13	2018年9月12日	やまか土壌医の会	藤井 秀和	東京都
14	2020年6月15日	イノチオ土壌医の会	大門 弘明	愛知県
15	2020年7月14日	豊田土壌医の会	豊田 富士雄	静岡県
16	2020年10月1日	日東エフシー土壌医の会	齋藤 良隆	愛知県
17	2021年4月1日	アグロカネショウ土壌医の会	後藤 純	埼玉県